



重点的に推進する視点

男女共同参画の現状と課題を踏まえ、今回の計画において改めて推進しなければならない視点を次のとおりとします。

1 女性の更なる社会への参画促進

多様性に富んだ活力ある社会を作るためには、多様な人材の活用や視点の導入、新たな発想を取り入れることが必要です。そのため、政策・方針決定の場をはじめとして、あらゆる分野への女性の更なる参画を推進します。

2 男性にとっての男女共同参画の推進

男女がお互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会は、男性がより暮らしやすくなる社会でもあります。そのため、男性の固定的な役割分担意識の解消、長時間労働など働き方の見直し、家庭生活や地域生活への参画を推進します。

3 子どもにとっての男女共同参画の理解促進

将来を担う子どもたちが、個性と能力を発揮し、固定観念にとらわれることなく、将来を見通した自己形成ができるよう、子どもの頃からの男女共同参画の理解を促進します。

4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

男女が仕事や家庭、地域活動、自己啓発など、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択できるワーク・ライフ・バランスを実現するため、事業者や市民に対しての意識啓発に取り組みます。

